

第65回 東京・第66回 大阪 スガウエザリング学術講演会のお知らせ

〔第65回 東京〕 開催日：平成29年11月22日（水）
会 場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

〔第66回 大阪〕 開催日：平成29年11月29日（水）
会 場：大阪国際会議場 12階特別会議場
（グランキューブ大阪）

参加登録制

〔 聴講無料
テキスト代（CD付）1部 5,000円（消費税込） 〕

定員 東京 300名・大阪 200名

参加申込方法は、裏面をご覧ください。

後 援： 文部科学省
協 賛： （一社）軽金属製品協会（公社）高分子学会（一社）色材協会
（公社）自動車技術会（一社）繊維学会
（一財）日本ウエザリングテストセンター
（一社）日本ゴム協会（一社）日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟
（一社）日本防錆技術協会（一社）表面技術協会（公社）腐食防食学会
スガ試験機（株）

主 催： 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

■ プログラム

テーマ 屋外暴露と促進試験

開催 期日 会場 時間割	東京(第65回)	大阪(第66回)
	平成29年11月22日(水) アルカディア市ヶ谷 3階富士の間	平成29年11月29日(水) 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 12階特別会議場
10:00~10:10	開会のご挨拶 理事長 須賀茂雄	
[1] 10:15~11:05	フッ素樹脂塗料の超促進耐候性試験評価技術 AGC旭硝子 化学品カンパニー 開発部 千葉研究所 機能商品開発室 コーティングG GL 齋藤 俊	
[2] 11:10~12:00	新しい繊維産業を目指して -非水系染色とスマートテキスタイル- 福井大学 産学官連携本部 客員教授 堀 照夫	
	休 憩 (1時間)	
[3] 13:00~14:15	促進耐候性試験における試験片温度の定量化 - Sol-Air Model の再考- 3M Weathering Resource Center David M. Burns	
[4] 14:20~15:10	船舶・海洋における環境試験方法の国際海事機関を巡る動向と将来展望 横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 客員教授 吉田 公一	
	休 憩 (15分)	
[5] 15:25~16:15	自動車の腐食環境の定量化技術 株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 西條 康彦	
[6] 16:20~16:50	最近の ISO・IEC・ASTM における促進耐候性、腐食促進試験規格の動向 (東京講演) スガ試験機株式会社 代表取締役社長 須賀茂雄 (大阪講演) スガ試験機株式会社 校正部 部長 喜多英雄	

(敬称略)

17:10~18:40 懇親会 (スガ試験機(株)主催、有料 2,000 円税込み)

講演概要

さいとう しゅん
齋藤 俊

塗料用フッ素樹脂は、1982年に旭硝子が世界で初めて市販化して以来30余年が経過した。この間、世界中の建築・構造物に数多く応用され、開発当初の期待年数を凌ぐ耐久性を有していることが、実物件での実績として証明されてきている。ここでは、酸化チタン顔料の光触媒劣化作用に着目した超促進耐候性試験の適用事例について紹介すると共に、これまで蓄積してきた国内外での暴露試験結果との相関性についても併せて紹介する。

ほりてる お
堀 照 夫

染色工業では水・エネルギーの大量使用と廃液による環境汚染の問題が深刻となっている。このような中、水に変わって二酸化炭素を媒体とする超臨界下における染色が提案され、今ではアジアを中心にこの方法での実用化が始まった。この原理を応用すれば、従来染色できなかった繊維が高い堅ろう度に染色され、また耐久性の高い機能加工や金属めっきも可能となる。この手法の原理と実用化の状況を紹介します。一方、先進国での繊維産業はスマートテキスタイルと呼ばれる「賢い繊維製品」の開発への展開が進んでいる。本稿ではこれらの新しい繊維産業分野を紹介する。

David M. Burns

促進耐候性試験の主要な産業用途は、屋外で暴露される製品の耐用年数や機能安定性を評価することである。製品の耐用年数を確実に評価するためにはその劣化挙動を理解しなければならない。劣化挙動を理解する上で、暴露中の試験片の定量的な温度情報が必要となる。Sol-Air Modelは、日光暴露下における試験片の表面温度を正確に定量化するための最も一般的なモデルである。ここでは、改めてSol-Air Modelについて包括的に技術評価し、さらに促進耐候性試験における実用的な適用について説明する。

よしだ こういち
吉田 公一

船舶及び海洋構造物、これらに搭載する機器及び材料は、海洋特有の環境にさらされることを想定し、国際海事機関において作成されてきている国際条約等により環境試験が課されている。また、最近の北極圏航路の利用拡大により、極寒を想定する耐環境性能の要件も裁定されつつある。このような、船舶・海洋における環境試験方法の国際海事機関を巡る動向を紹介し、その将来展望を論じたい。

さいじょう やす ひこ
西 條 康 彦

自動車開発において、新しい構造や材料の寿命を予測するため、腐食促進試験結果と市場環境における腐食結果との相関性を確保することは重要である。そのため、鉄の腐食メカニズムを考察し、鉄錆還元電流を検出する実車計測可能なセンサーについて検討を行った。センサーの電極間に存在する鉄さびの抵抗のため、ファラデーの法則から求めた腐食量と実際の腐食量とは一致しない事が判った。その影響を補正する自動車の腐食環境の定量化技術について紹介する。

す が しげ お / き た ひで お
須 賀 茂 雄 / 喜 多 英 雄

促進耐候性試験や腐食促進試験はさまざまな産業分野毎にISO、IEC、ASTM規格等に規定されている。各産業分野でそれぞれのエキスパートにより審議されるため、同じ試験方法が分野毎に解釈の違いやその時の審議合意により、結果的に異なった規定になる場合がある。このためスガ試験機では各産業分野の国際標準化審議に横断的に参画し、共通の試験方法については整合するように努めている。ここでは、最近の事例として耐候性試験方法や塩水噴霧試験方法を例にその取組みと課題について紹介する。

(敬称略)

■参加申込方法

参加をご希望の方は、当財団 Web サイト (www.swtf.or.jp) より参加登録フォームにてお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、下記の参加申込書をご利用ください。

登録完了後メールにてご返信いたします(定員になり次第締切りとさせていただきます)。

聴講無料ですが、テキストをご入用の方は、別途テキスト代をお支払いください。

○講演会参加申込書 (FAX 用)

スガウエザリング技術振興財団 行

(東京) FAX 03-3353-4753

(大阪) FAX 06-6386-5156

講演会 (聴講無料)	東京 (11月22日) ・ 大阪 (11月29日)	(いずれかに○印)
フリガナ		
ご氏名		
ご勤務先		
ご所属・お役職		
電子メール	(参加登録完了をご連絡いたしますので、必ずご記入下さい。)	
ご勤務先住所	〒 都道 府県	
T E L		
テキスト (CD 付) (有料)	要	不要 (いずれかに○印)
	1部 5,000円 (消費税込) ※テキストは、当日お渡しいたします。 送金方法：銀行振込 三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通 0183721 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団 振込み手数料はご負担ください。 右記期限までにお振込みをお願いいたします (東京会場：11月10日(金)/大阪会場：11月17日(金))。 お振込みの際、振込人名の前に識別番号 (参加登録完了メールに記載) の打電をお願いいたします。ご対応が難しい場合には、識別番号・聴講者名・入金日を事前にメールにてご連絡ください (tokyo@swtf.or.jp)。 なお、一度ご入金されたテキスト代は返金致しかねますのであらかじめご了承ください。万が一お振込み後に参加登録をキャンセルされた場合には、テキストを後日着払いにて郵送いたします。	

○懇親会参加申込書 (FAX 用) (スガ試験機㈱主催)

懇親会 (有料)	参加する	参加しない	(いずれかに○印)
	参加料 2,000円 (消費税込)	※当日、現金でお支払い下さい。	

■会場のご案内

東京会場

アルカディア市ヶ谷 3階富士の間
〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921

- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1またはA1)出口から徒歩2分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1またはA4)出口から徒歩2分
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

大阪会場

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 12階特別会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555

- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)」駅(2番出口すぐ)
- JR環状線「福島」駅から徒歩(約10分)
- JR東西線「新福島」駅(2番・3番出口)から徒歩(約10分)
- 阪神電鉄「福島」駅3番出口から徒歩(約10分)
- 地下鉄「阿波座」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩(約10分)

尚、無料シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」(大阪国際会議場東隣)とJR「大阪駅」西側(高架下)の間で運行しておりご利用いただけます。

(公財)スガウエザリング技術振興財団

東京事務局

〒162-0067 東京都新宿区富久町 16-5
新宿高砂ビル 6階
Tel : 03-3354-5248 Fax : 03-3353-4753
E-mail : tokyo@swtf.or.jp

大阪事務局

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 3-23
Tel : 06-6386-2691 Fax : 06-6386-5156
E-mail : osaka@swtf.or.jp